

令和 8 年度アイヌ文化関連施設等魅力発信事業委託業務
企画提案指示書

1 委託する業務名

令和 8 年度アイヌ文化関連施設等魅力発信事業委託業務

2 業務の目的

道内のアイヌ文化関連施設及び関係自治体等の多様な主体が連携し、アイヌ文化の体験・発表・交流の機会を創出することにより、その魅力を広く発信するとともに、来訪者の理解促進を図り、アイヌ文化の裾野の拡大を図ることを目的とする。

3 委託業務の内容

道内のアイヌ文化関連施設及び関係自治体等が出展参加し、アイヌ文化の魅力発信を「アイヌ文化サミットイベント」の開催の企画・実施。

なお、委託業務については、開催計画の作成、参加団体募集及び調整、ステージイベント出演者・ワークショップ講師等との調整、会場装飾等、本イベントの開催に係るすべての業務とする。

(1) イベントの企画及び実施業務

ア 開催概要

(ア) 開催期間：令和 8 年(2026 年)10 月 17 日(土) 11 時～20 時、18 日(日) 10 時～17 時

※設営は前日(10 月 16 日(金))とする。

(イ) 場 所：・札幌駅前通地下広場(チカホ北 3 条交差点広場(西)、

憩いの空間 E、憩いの空間 W)

・札幌市北 3 条広場(アカプラ)

会場使用料、警備費用等、イベント開催に係る経費は本委託業務費に含む。

(ウ) 対 象：一般道民及び観光客等

(エ) 来場数目標：2 日間で 5,000 人以上

イ イベントプログラム

次の事項のとおり、来場者が終日アイヌ文化に親しみ、理解促進につながる内容を提案し、実施すること。

(ア) ステージイベント(アカプラ)

a 進行 MC の手配

b ステージ設置

・特設ステージ(幅 6,000mm×奥行 4,000mm 以上)を設置すること。

・音響及び照明機材の確保及びに操作・調整を行うこと。

・観客席(スタッキングチェア 100 席程度)を設置すること。

・PR 看板を設置すること。

c 演者控室の設置

2 カ所設置し、姿見等必要備品を用意すること。

d ステージ企画

(a) アイヌ古式舞踊の披露

アイヌ古式舞踊、伝統楽器、歌謡などの演目バランスを考慮した公演内容を次の項目を踏まえて提案し、実施すること。

・回数：1 日 2 回×2 日

・人数：8 人程度

・時間：1 回 20～30 分程度

・演者等の確保：全道を対象としたイベントであることを考慮し、札幌以外の団体について北海道アイヌ協会等と十分調整の上、演者を手配すること。

・事前リハーサルを実施すること。

(b) トークイベントの実施

・アイヌ文化の関心層の拡大を図るため、アイヌ文化を気軽に知り、魅力を感じてもらうためのトークイベントをパネルディスカッション形式で企画を提案し、実施すること。テーマはアイヌ文化と生活に身近なトピック(食、服飾等)とすること。

- ・回数：1回以上
 - ・時間：1回30～40分程度
 - ・演者等の確保：テーマに沿い、幅広い参加者にアイヌ文化の魅力を伝えられるスピーカーを1名以上選定すること。スピーカーは、自身の実体験や活動、関心等に基づき、来場者の関心・共感を促すことができるような、アイヌ文化にゆかりのある方、アイヌ文化への関心が高い方等を想定する。
- (c) 子ども向け企画の実施
- 子ども（未就学児～小学生程度）を対象としたキャラクターショー、アイヌ語クイズやゲームなど、来場した子どもが参加型で楽しめる企画を提案し、実施すること。
- ・回数：各日1回以上
 - ・時間：1回30～40分程度
- (d) 一般向け参加型企画の実施
- 来場者が参加型で楽しめる企画（1回あたり概ね20名程度）を提案し、実施すること。
- ・回数：各日1回以上
 - ・時間：1回30～40分程度
- (e) 参加団体PR企画の実施
- イベント参加団体と調整の上、各団体のPRステージ企画を実施すること。
- ・回数：希望する団体が出演できるよう、ステージプログラムで適切に調整すること。
 - ・時間：1団体あたり10～15分程度
- (イ) 子ども広場の設置（アカプラ、チカホ）
- 終日実施可能な子ども向けのアイヌの遊び、縁日等の企画をアカプラ、チカホそれぞれの場所ごとに提案し、安全に配慮した人員の配置の上、実施すること。
- なお、広場のスペースはアカプラ、チカホともに幅6,000mm×奥行3,000mm程度とする。
- (ウ) アイヌ伝統料理オハウの無料試食提供（アカプラ）
- a オハウの無料試食提供について、具体的な実施方法（調理体制、提供方法等）を提案の上、実施すること。実施回数は各日500食以上を提供すること。
 - b 提供に係る資機材、保健所への届け出等必要な申請は受託者が行うこと。
 - c 立食用ハイテーブル5台以上、パラソル付きカフェテーブルセット4台以上、ゴミ箱10台以上設置すること。
- (エ) キッチンカー等の出店（アカプラ）
- 飲食店経営者等から出店を募り、キッチンカーや屋台を各日6店舗以上出店すること。
- (オ) アイヌ文化関連施設、自治体等のブース出展（チカホ）
- a ブース出展者の募集・調整
- 出展者の募集、受付及び出展ガイドの作成、出展者決定後の出展内容等の調整について、委託者と協議の下、行うこと。出展者募集対象範囲は、道内市町村、アイヌ文化関連施設、ウポポイ官民応援ネットワーク企業等とする。
- なお、出展内容は、体験ワークショップや物販等、アイヌ文化に親しめる内容を想定するが、具体的な実施内容については参加団体の任意とする。
- b ブース基本構成
- (a) ブース出展はチカホ北3条交差点広場、憩いの空間E及び憩いの空間Wとし、ブース数は全27ブースとし、各ブース備品は以下のとおりとする。
 - ・長机（W1,800×D450×H700mm）各ブース2台
 - ・パイプ椅子 各ブース2脚
 - ・システムパネル（H1,800mm×W900mm） 各ブース2枚
 - ・サイン掲示 各ブース1枚
 - (b) 出展者から出展料は徴収しないこととする。
 - (c) 各ブースの備品等設営は受託者が行い、参加団体の出展サポートを行うこと。
- (カ) 制作体験ワークショップの設置（チカホ）
- a アイヌ文様を使った制作ワークショップを提案し、実施すること。体験人数及び回数は1回あたり20名以上、各日3回以上とし、指導講師を1名以上配置すること。
 - b ブース基本構成
- ワークショップスペースは、チカホ北3条交差点広場内の幅6,000mm×奥行3,000mm程

度とし、提案内容に応じた備品、資材を手配すること。

(キ) フォトスポットの設置 (チカホ)

アイヌ文化に興味・関心を高めるフォトスポット背景を制作・設置し、アイヌ民族衣装の試着体験を企画・運営すること。なお、試着用衣装は委託者が提供する。

(ク) 案内所の設置 (アカプラ、チカホ)

チカホ会場、アカプラ会場の双方の周遊を促すため、各1カ所案内所を設置すること。イベント開催時間を通して人員を配置した上で開設することとし、ステージイベント、各ブース等の案内について、インバウンド対応も含めて行うこと。

ウ 誘客等

(ア) マスコット等による賑やかし

アイヌ文化になじみ深いマスコットキャラクター2体以上を活用して会場内で誘客を行うこと。実施回数は1日3回以上とする。

(イ) 来場者の周遊を促す企画

来場者が会場内をくまなく周遊できる企画を提案し、実施すること。

(ウ) ノベルティの作成

ノベルティを5,000個以上作成すること。

エ 広告・宣伝等

本イベントの周知について、主に若年層及びファミリー層を対象として、以下の広報・宣伝業務を実施すること。

(ア) 特設サイトの設置

本イベントの概要、開催日時、会場、プログラム内容等を掲載した特設サイトを制作・公開すること。

(イ) ウェブ広告の実施

概ね10万件以上のリーチ獲得を目安として、ウェブ広告(Google ディスプレイ広告、Yahoo! ディスプレイ広告等)を実施すること。

(ウ) その他、メディアへの情報提供やプレスリリース配信等を通じ、無償媒体掲載等を獲得すること。

オ 来場者へのアンケート調査

来場者に対し、アイヌ文化振興及びイベントに関するアンケート調査を実施すること。なお、調査項目及び開催期間中に日本人、インバウンド向け各500件以上集められる方法を提案し、委託者と協議の上、決定すること。

(2) 留意事項

ア 実施運営業務

会場の設営から運営、撤去までの一連の業務について、運営マニュアルを作成し、円滑かつ適切に遂行可能なスタッフを確保するとともに、配置計画を提案し、対応すること。

(ア) シナリオの作成

ステージイベントのシナリオを提案し、委託者と協議の上、作成すること。

(イ) イベントの名称

実施するイベントについて、より多くの誘客につながる興味を引きやすい名称を提案すること。

(ウ) 観覧者のマネジメント

各イベントプログラムの実施に際し、一般の通行や演者の安全確保のために必要となる対応及び誘導等の方法を提案し、実施すること。

イ 会場設営作業(搬入・設営・移動・撤去・搬出)

(ア) 搬入・設営

イベント実施に必要な資機材を手配し、会場への搬入、設営をすること。搬入・設営は、前日(10月16日(金))とする。

また、会場の状況等により資機材配置の変更が必要な場合は、委託者と協議の上、対応すること。

(イ) 会場撤去・搬出

イベント終了後は、全ての資機材を撤去し、搬出すること。

ウ 会場装飾

会場内の装飾のため、アイヌ文化をPRする統一感のあるデザインにより、看板、サイン等を作成し、装飾を施すこと。

エ 来場者誘導及び人数把握について

会場周辺の通行者等への入場意欲の醸成を図り、より多くの入場者の確保に努めるとともに、来場者数を把握すること。

オ その他の業務

(ア) 上記業務のほか、目的の達成に資する独自事業、連携事業の企画があれば提案すること。

(イ) 事業の実施にあたっては、委託者と随時、協議等を行うこと。

また、未定事項や調整の結果変更される事項について、柔軟に対応できる体制を整え、変更する場合は事前に委託者と協議すること。

(ウ) 業務の実施にあたって発生する経費（事業運営、控室、会場設営等に係る費用等）は、受託者が負担し、併せて必要な連絡調整を行うこと。

(エ) 業務の実施にあたっては、必要な施設・設備及び人員の確保し、資料等を手配するとともに、集客が必要なイベントには適切な広報を行うこと。

(オ) 各業務の進行管理を適切に行うこと。

(3) 事業実施報告書の作成及び成果物の提出

委託業務を完了したときは、当該委託業務の処理成果を記載した報告書等を次のとおり提出すること。

ア 本委託業務の処理成果を記載した実績報告書

紙媒体 1 部（A4 判）（様式は本委託業務処理要領に添付）

イ 当該委託業務の処理成果を記載した報告書：紙媒体 1 部、電子媒体 1 部

電子媒体はパワーポイント等編集が可能なものとする。

ウ 上記（1）ウ（ウ）で制作したノベルティ完成品 5 点

4 契約の方法等

(1) 契約方法 総合評価一般競争入札

(2) 契約期間 契約締結日から令和 8 年（2026 年）12 月 25 日（金）まで

5 審査基準

審査は次の項目について評価するので、十分留意のうえ企画提案書を作成すること。

(1) 実施体制・業務遂行能力

ア 業務を実施するにあたり、アイヌの歴史・文化に関する知識を有しているか。

イ 本事業で実施する業務内容に関し、十分な実績を有し、関連業務のノウハウを有する事業者とのネットワークを有しているか。

ウ 実施スケジュールが適切であるか。

(2) 企画提案内容

ア イベント趣旨の理解度

(ア) 提案された企画（会場演出、イベント企画等）は、効果的な内容となっているか。

(イ) ステージ企画は、来場者が終日楽しめるプログラムであり、集客力のある効果的な提案となっているか。

(ウ) 参加団体の募集・受付・調整・出展支援に係る一連の業務を円滑に実施できる体制となっているか。

(エ) 子ども広場及び制作体験ワークショップのコンテンツは、来場者が楽しみながらアイヌ文化を知ることができる工夫がなされた内容となっているか。

(オ) オハウ配布、キッチンカーの配置等、食に関する企画、実施方法は効果的な提案となっているか。

イ 誘客等

(ア) 会場内の賑わい創出や、来場者の周遊を促す企画は、効果的な提案となっているか。

(イ) 作成するPR資材は、集客に効果的な提案となっているか。

ウ 広報・宣伝等

(ア) 会場への集客に係る広告・宣伝は、効果的な提案となっているか。

エ 来場者へのアンケート調査

(ア) 調査の実施方法は効果的な提案となっているか。

オ その他

(ア) 目的の達成に資する独自又は連携企画の内容は適切か。

6 総合評価一般競争入札に参加する者に必要な資格

次のいずれにも該当すること。

- (1) 地方自治法施行令（昭和 22 年政令第 16 号）第 167 条の 4 第 1 項各号に掲げる者でないこと。
- (2) 地方自治法施行令第 167 条の 4 第 2 項の規定により競争入札への参加を排除されている者でないこと。
- (3) 道が行う指名競争入札に関する指名を停止されていないこと。
- (4) 暴力団関係事業者等であることにより、道が行う競争入札等への参加を除外されていないこと。
- (5) 暴力団関係事業者等でないこと。
- (6) 次に掲げる税を滞納している者でないこと。
 - ア 道税（個人道民税及び地方消費税を除く。以下同じ。）
 - イ 本店が所在する都府県の事業税（道税の納税義務がある場合を除く。）
 - ウ 消費税及び地方消費税
- (7) 次に掲げる届出の義務を履行していない者でないこと（当該届出の義務がない場合を除く。）。
 - ア 健康保険法（大正 11 年法律第 70 号）第 48 条の規定による届出
 - イ 厚生年金保険法（昭和 29 年法律第 115 号）第 27 条の規定による届出
 - ウ 雇用保険法（昭和 49 年法律第 116 号）第 7 条の規定による届出
- (8) 単体法人で参加する場合は、道内に本店又は主たる事業所あるいは支店等の拠点を有するものであること。また、複数法人による連合体（以下「コンソーシアム」という。）で参加する場合は、道内に本店又は主たる事務所を有するものをその構成員に含むものであること。
- (9) コンソーシアムの構成員が単体の法人としても重複参加する者でないこと。また、コンソーシアムの構成員が他のコンソーシアムの構成員として重複参加する者でないこと。

7 参加資格申請書等の提出

- (1) 提出書類 参加資格申請書、添付資料
- (2) 様式 参加資格申請書 別添様式による
- (3) 提出部数 参加資格申請書、添付資料とも 1 部
- (4) 提出期限 令和 8 年（2026 年）5 月 18 日（月）17 時（必着）
- (5) 提出場所 10 の（4）のとおり
- (6) 提出方法 持参又は郵送（簡易書留、書留のいずれか）による

8 企画提案書等の提出

- (1) 提出書類 企画提案書、付属資料
- (2) 様式 企画提案書 別添様式による
- (3) 提出部数 企画提案書、付属資料とも 8 部
※ 1 部は提案者名を記載したもの。残り 7 部は提案者名を記載しないもの。
文中にも提案者名を記載しないよう注意すること。
- (4) 提出期限 令和 8 年（2026 年）5 月 26 日（火）17 時（必着）

- (5) 提出場所 10 の (4) のとおり
- (6) 提出方法 持参又は郵送 (簡易書留、書留のいずれか) による

9 総合評価審査委員会 (ヒアリング) の実施

- (1) 参加者として選定した者から、総合評価審査委員会においてヒアリングを実施する。ヒアリングの日時及び場所は、別途通知する。
- (2) 企画提案書提出者数が 5 者を超える場合には、委員による書類選考を行う場合がある。
- (3) ヒアリングに参加しなかった提案者の提案は無効とする。

10 その他

- (1) 公募手続きにおいて使用する言語、通貨
日本語、日本円
- (2) 無効となる提出書類
企画提案書及び付属資料が次の事項の一つに該当する場合には無効となることもある。
 - ・提出期限、提出場所、提出方法に適合しないもの。
 - ・指定する作成様式及び記載上の留意事項に示された条件に適合しないもの。
 - ・記載すべき事項の全部又は一部が記載されていないもの。
 - ・虚偽の内容が記載されているもの。
- (3) その他
 - ア 全ての提出書類の作成・提出に係る費用は、提案者の負担とする。
 - イ 提出された企画提案書等は、総合評価一般競争入札の目的以外には、提出者に無断で使用しないこととする。
なお、特定された者と契約を締結した後は、当該企画提案書等を成果品が納品される日まで閲覧に供する場合がある。
 - ウ 提出された書類は審査を行う作業に必要な範囲において、複製を作成することがある。
 - エ 提出期限以降における企画提案書等の差し替え及び追加等は認められない。
 - オ 全ての提出書類は返却しない。
 - カ 本業務に係る質問は、企画提案書等の提出期限の日まで受け付けるものとする。
- (4) 参加資格申請書、企画提案書等の提出先
郵便番号 060-8588
札幌市中央区北 3 条西 7 丁目 (北海道庁別館 4 階)
北海道総務部イノベーション推進局契約マネジメントセンター委託契約係
電話 011-204-5931 F A X 011-232-1793
電子メールアドレス kei.mane@pref.hokkaido.lg.jp
- (5) 問合せ先
 - ア 参加資格申請・企画提案書等の提出及び契約手続に関すること
上記 (4) のとおり
 - イ 委託業務の内容に関すること
郵便番号 060-8588
札幌市中央区北 3 条西 6 丁目 (北海道庁本庁舎 12 階)
北海道環境生活部アイヌ政策推進局アイヌ政策課
電話 011-206-6024 F A X 011-232-4112
電子メールアドレス kansei.ainu@pref.hokkaido.lg.jp